

## 事業所における放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 11月 30日

公表: 令和 4年 1月 8日

事業所名 児童デイサービスぱれっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動スペースとフリースペースを机で分けてる	継続していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○			継続していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内に段差はない。	継続していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に一度ミーティングを開いている。	ミーティングを通して改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様にアンケートを配り、意見を頂いている。	保護者様の要望も踏まえた、活動を取り得れるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		施設内で検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		講師を招いて研修会を開きたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		聞き取りを定期的に行っている。	支援作成会議を開き、職員間での情報共有を怠らない様に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを使用している。	継続していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングを開き職員全員で意見をだしている。	継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		保護者様から意見を頂き、取り入れている。	継続していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休みの日にしか出来ない、野外活動などを取り入れている。(コロナ禍につき、今年度は自粛している)	継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの特性に合わせて活動している。	継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を毎日行っている。	継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を毎日行っている。	継続していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		経過記録表を毎日記入している。	継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6カ月更新で行っている。	継続していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		バリエーション多く出来ている。	継続していきます。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	継続していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に情報共有をしている。	継続していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		前例がないのでやっていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		連携が取れるように努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		前例がないのでやっていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		連携が取れるように努めていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		連携が取れるように努めていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	参加できている時、出来ていない時がある。	毎回、参加できるように調整していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートや口頭で日々の様子を伝えている。	保護者様と連携をとり、統一した対応をする事もある。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者様を対象にした、勉強会を開けたら良いと考える。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしている。	継続していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や電話で行っている。	継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会などを開催できるように努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情専門の窓口を設けている。	継続していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月おたよりを配布している。	継続していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の同意書に契約時サインを頂いている。	継続していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		障害に応じて、絵カードや文字で伝達を行っている。	継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		夏祭りなどのイベント時に参加してもらえたらと考える。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルがまだ不十分なので作成をしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度、防災訓練を行っている。	継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		専門家を呼んで研修会を開いていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に詳しく説明をしている。	継続していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用者様のアレルギーを表にしている。	継続していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		書面で保管している。	継続していきます。